

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 東京大学大学院 農学生命科学研究科
応用生命化学専攻 生物機能開発化学研究室
准教授 三坂 巧 先生
2. 演 題 「味覚受容体の機能解析から「おいしさ」を考える」
3. 日 時 平成28年5月13日(金) 17時00分～18時30分
4. 場 所 7号館【歯学部校舎棟】2階 第2講義室
5. 内 容

食品の味は、その嗜好性を決定する重要な因子である。

口腔内で呈味物質を受容する味覚受容体が同定されて以来、味覚研究は大きく進展した。

味覚受容体を用いた評価系を用いることで、人間が感じる味の強度を客観的に評価できるようになってきた。

本講義では、我々のグループで得られた最新の結果を中心に、味覚研究の最前線を紹介する。

連絡先： 島崎 一夫 (咬合機能矯正学分野 内線 5963)